

全国中小企業動向調査(中小企業編)の結果概要

～2010年4-6月期実績、7-9月期および10-12月期見通し～

『中小企業の景況は、持ち直しの動きが続いている』

日本政策金融公庫総合研究所は7月22日「全国中小企業動向調査結果(2010年4-6月期実績、7-9月期以降見通し)」を発表した。
「全国中小企業動向調査結果」によると、2010年4-6月までの中小企業の景況は「持ち直しの動きが続いている」との調査結果報告がなされた。

今回調査のポイント

- ① 業況判断DI
3年半ぶりにプラスに転じている。
- ② 売上げDI
マイナス幅が縮小し、製造業ではプラスに転じている。
- ③ 価格DI
販売価格DIはマイナス幅が縮小し、仕入価格DIは大幅なプラスとなっている。
- ④ 純益率DI
マイナス幅が縮小し、製造業ではプラスに転じている。
- ⑤ 従業員DI
マイナス幅が縮小している。
- ⑥ 設備投資実施企業割合
緩やかながら上昇傾向にある。

DATA

- 調査時点
2010年6月中・下旬
- 調査対象
当公庫中小企業事業取引先 13,441社
- 有効回答企業数
6,915社(回答率51.4%)

DI (ディフュージョン・インデックス)

当調査のDIは、回答結果の分散程度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の3つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合の差をDIとしています。DIは基本的に『変化の方向』を表すものです。

動き1

業況判断

▲ 11.2
↓ 0.3

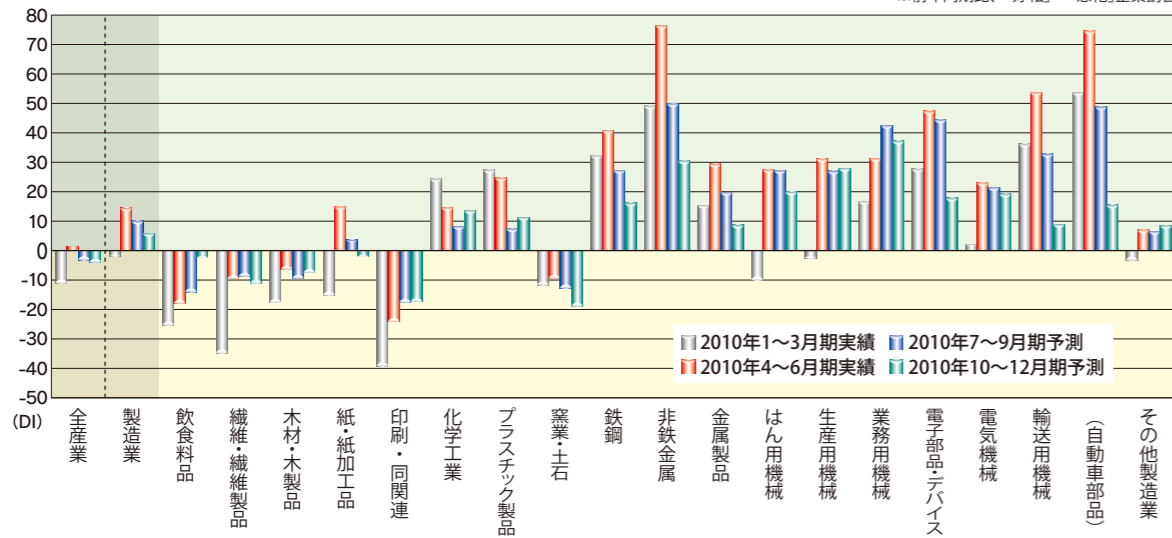
UP

プラスに転じる。

● 現状
業況判断DI(前年同期比)「好転」「悪化」企業割合は、0.3と2006年10-12月期以来3年半ぶりにプラスに転じている。
● 見通し
先行きについては、小幅ながらマイナスに転じる見通しとなっている。

製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「好転」「悪化」企業割合



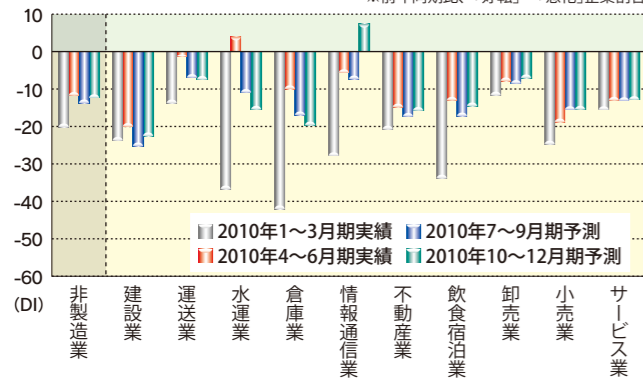
動き2

業種別業況判断

● 製造業・機械関連業種を中心にプラスとなっている。
● 非製造業・全ての業種でマイナス幅が縮小。

非製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>

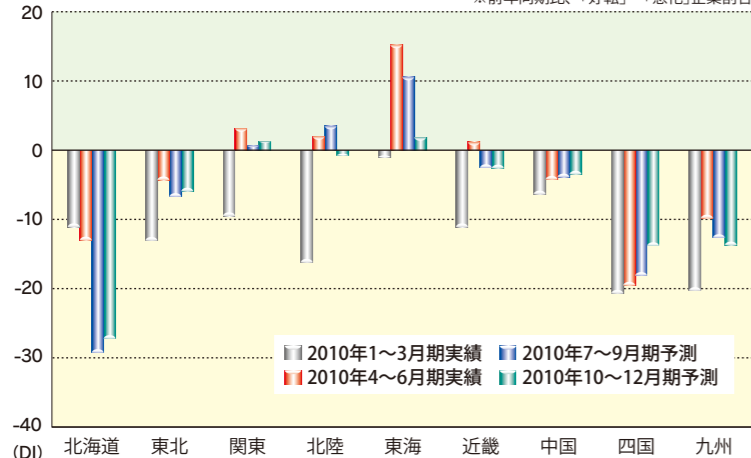
※前年同期比、「好転」「悪化」企業割合



● 製造業
製造業では、非鉄金属や自動車部品などで、大幅なプラスが続いている。また、はん用機械・生産用機械などでプラスに転じている。
● 非製造業
非製造業では、全ての業種でマイナス幅が縮小し、水運業ではプラスに転じている。先行きについては、運送業や倉庫業などでマイナス幅が拡大し、また、建設業では低い水準が続く見通しとなっている。

地域別業況判断DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「好転」「悪化」企業割合



動き3

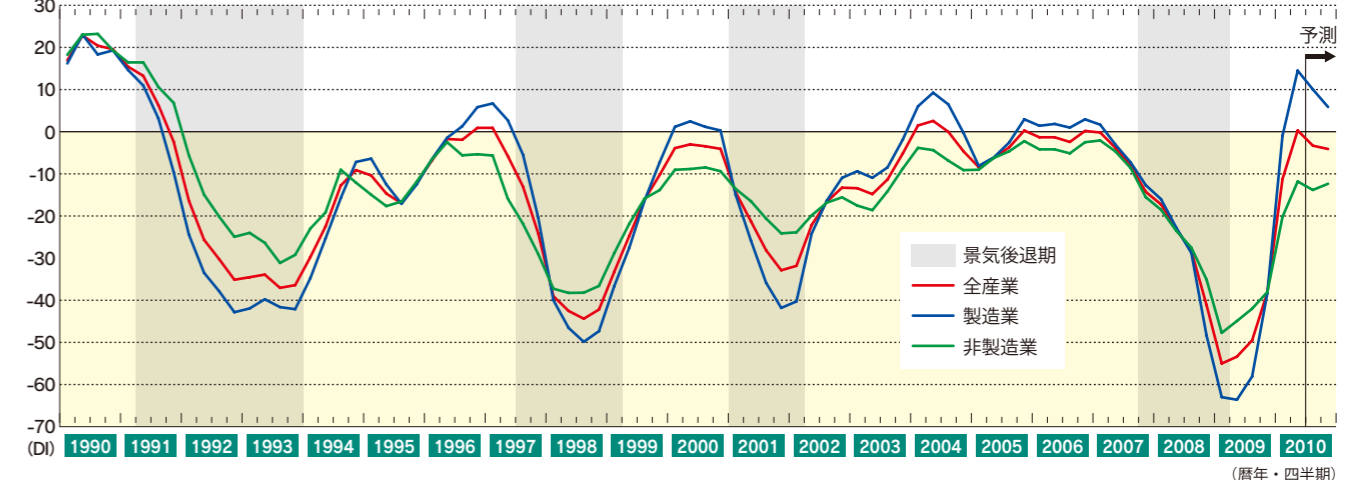
地域別業況判断

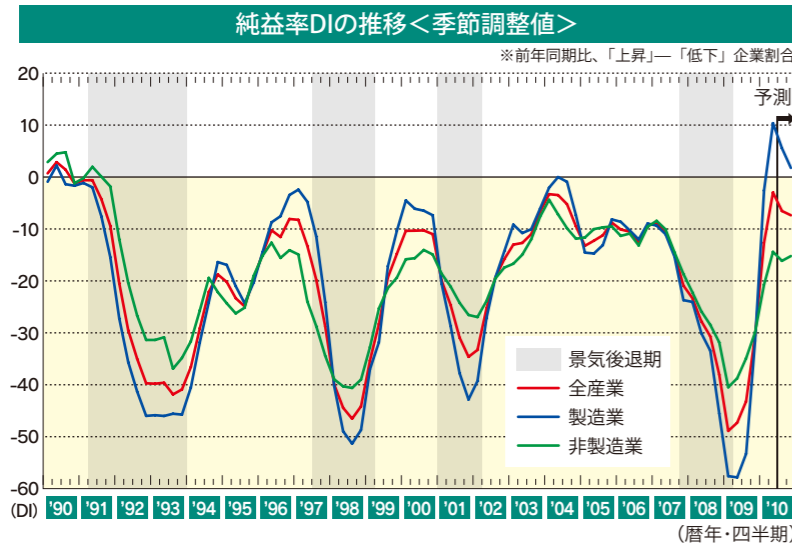
東海、関東などでプラスに転じる。

回答企業のうち機械関連の占める割合が大きい東海、関東、北陸、近畿でプラスに転じている。一方、建設業などの内需関連の割合が大きい北海道ではマイナス幅が拡大している。先行きについては、北海道や九州でマイナス幅の拡大を見込んでいる。

業況判断DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「好転」「悪化」企業割合





純益率DI(前年同期比、「上昇」「低下」企業割合)は、マイナス幅は5期連続で縮小し、製造業ではプラスに転じている。先行きについては、小幅ながらマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

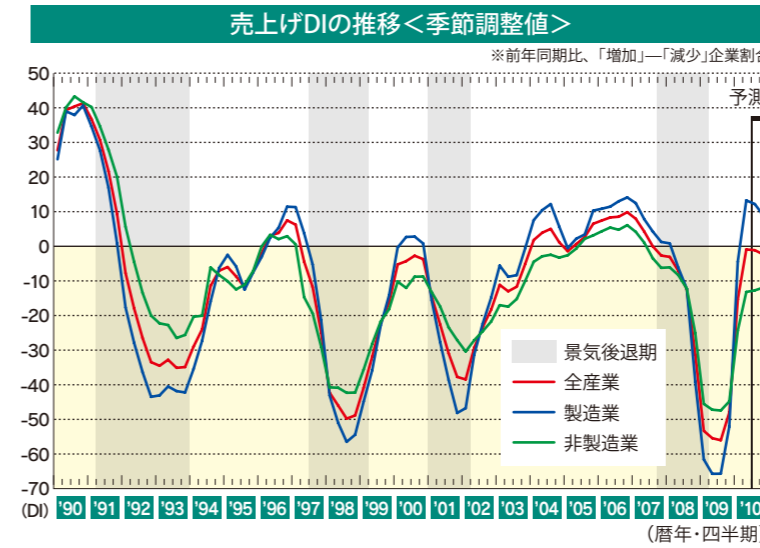
動き7

利益

▲12.7
↓
▲3.0

UP

マイナス幅が縮小。



売上げDI(前年同期比、「増加」「減少」企業割合)は、マイナス幅は3期連続で縮小し、1.0と2007年7-9月期以来11期ぶりの水準となっている。製造業ではプラスに転じている。先行きについては、小幅ながらマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

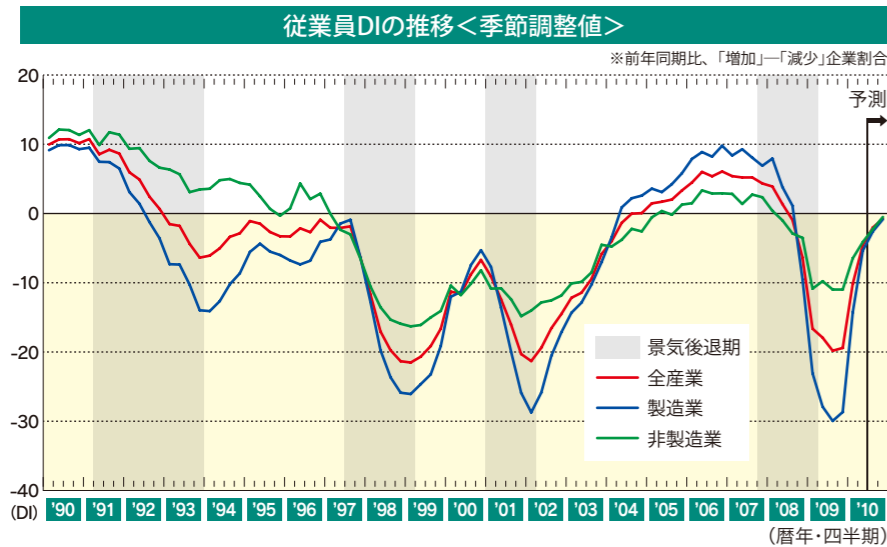
動き4

売上げ

▲15.4
↓
▲1.0

UP

マイナス幅が縮小。



従業員DI(前年同期比、「増加」「減少」企業割合)は、▲4.6と3期連続でマイナス幅は縮小している。

動き8

雇用

▲10.2
↓
▲4.6

UP

マイナス幅が縮小。

全国中小企業動向調査(中小企業編)について

当調査は、中小企業の景気動向等を把握するために、当公庫中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以来3ヵ月ごとに実施している調査です。調査結果については、中小企業の分野において我が国を代表するビジネスサーベイのひとつとして、関係各位から高い評価を得ています。

仕入価格DI(前年同期比、「上昇」「低下」企業割合)は、20.7と大幅なプラスとなっている。先行きもプラス幅が拡大する見通しとなっている。

動き6

仕入価格

0.9
↓
20.7

UP

大幅なプラスとなる。

販売価格DI(前年同期比、「上昇」「低下」企業割合)は、2期連続でマイナス幅は縮小しているものの、低い水準が続いている。

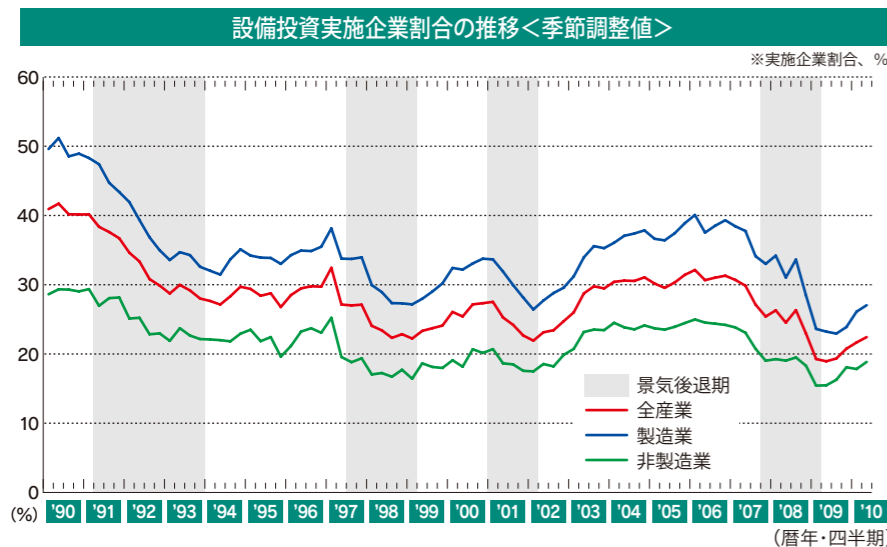
動き5

販売価格

▲32.0
↓
▲25.7

UP

マイナスが続く。



設備投資実施企業割合は22.4%となり、過去最低を記録した2009年4-6月期(18.9%)から、4期連続で上昇している。

動き9

設備投資実施企業割合

21.6
↓
22.4

UP

緩やかながら上昇。

